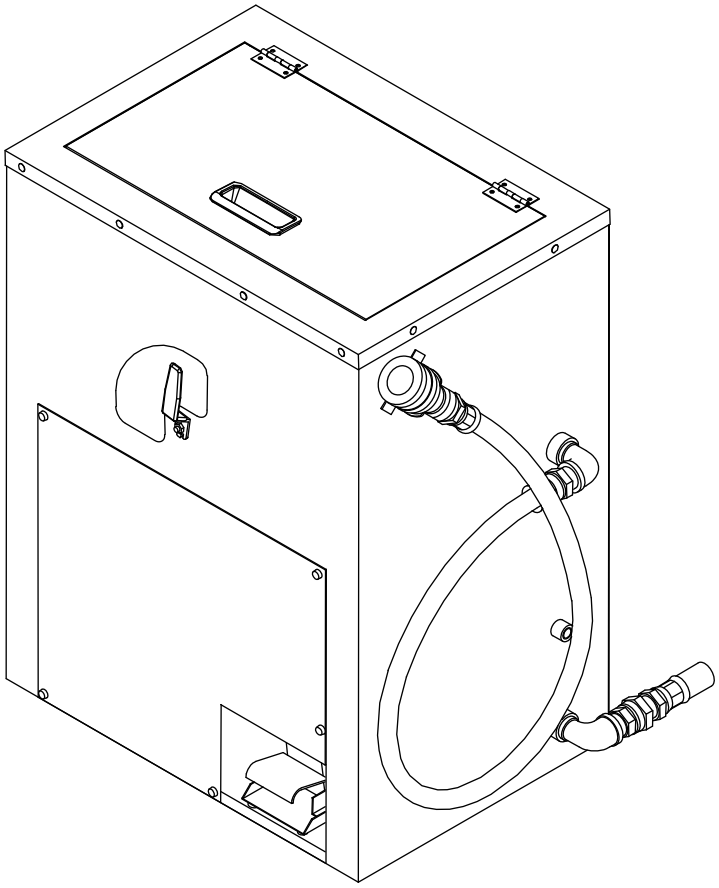
Doc. No.	AUT 068U-00

取 扱 説 明 書

ドレーンキャビネット

MODEL NO. 881129



⚠警　告

安全のため、本製品のご使用の前には必ず本書を良く熟読し、記載されている重要警告事項を良く理解してください。また、本書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

- はじめに

本書は、お使いになる本製品が故障なく充分に皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法とご使用上の注意について説明したものです。この説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。なお、ご使用中に不明な点、不具合などありましたら、お買い上げの販売店、または裏面記載の弊社営業所までご連絡ください。

- 使用目的

本製品はペール缶やポータブルオイルドレンに溜めた廃油もしくは廃 LLC を回収し、移送する処理装置です。内蔵のエア駆動式ポンプにより、廃油もしくは廃 LLC の移送を簡単に行うことができます。

- 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。
本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただくようによくお読みください。

警告： この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。

注意： この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。

この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。

この表示は、必ずしたがっていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

- 設置・使用上の注意事項

⚠ 警 告

- 作業者、保守要員の方は、本製品の操作、または保守を行う前に本書をよく読んで、完全に理解できるまでは作業を行わないでください。
- 本製品を設置する際は水平な場所を選び、アンカーボルトを使用し、外れないようしっかりと取付けてください。転倒した製品にぶつかり、ケガをする可能性があります。
- 本製品を使用する前に日常点検を必ず実施してください。
- 異常に気がついた場合はすぐに使用を中止してください。
- 本製品を取扱う際は、適切な保護具(フェイスマスク、耳栓、安全靴、軍手等)を着用してください。
- ポンプの分解・点検は、人身事故を防止するため、必ず供給エアを止めて、ポンプ内の圧力を抜いてから行ってください。
- 本製品で移送する廃液に関しては、メーカーの取扱い注意事項(MSDS 等)に従ってください。
- 本製品を Zone 0 の防爆エリアに設置しないでください。また、本製品を防爆エリアに設置する際は必ず製品とポンプにアースを取付けてください。アースを付けずに使用した場合、火災や爆発につながる可能性があります。
  (防爆エリアに関しては IEC 60079-10 を参照してください。)
- 本製品は廃油もしくは廃 LLC 専用です。ブレーキフルード、有機溶剤等のパッキンを侵す液剤及び、揮発性の高い液剤は絶対に使用しないでください。液剤の種類によっては火災、爆発や製品の破損に繋がる可能性があります。

⚠ 注 意

- 本製品を移動する際は、製品を落とさないように注意して移動してください。
  また、人力で移動する場合は必ず 2 人以上で移動してください。1 人で移動を行った場合、製品の重量で腰を痛める可能性があります。
- 本製品を設置する際は雨水や水のかからない場所に設置してください。製品が濡れた場合、環境汚染につながる可能性があります。
- 本製品へのエア供給源には、必ずバルブを取付けてください。バルブを取付けず製品を使用した場合、故障の原因となる可能性があります。
- エアホースを接続する前に、必ずフットバルブが OFF になっているのを確認してください。不意にポンプが作動しオイルが流出することがあります。
- 本製品の使用温度は 0℃～70℃です、この範囲を超える廃液を流さないでください。製品の故障につながる可能性があります。
- ポンプの最高使用エア圧力は 0.7MPa です。これ以上の圧力での使用はポンプの破損により事故を招くことがあります。必ず 0.7MPa 以下でご使用ください。
- 本製品を取扱う際はフタに手や指をはさまないように注意してください。
- 本製品を取扱う際に、部品でケガをする可能性があります。本製品を取扱う際にはケガがないよう十分に注意してください。
- 本製品の使用後は必ずホース残圧除去を実施してください。残圧を除去せずに放置した場合、配管内から廃液が漏れ、施設を汚染する可能性やポンプの故障に繋がる可能性があります。
- 本製品を分解する際は配管内に残った廃液を除去し、ウエス等を使用し、配管内の廃液が漏れないように注意して分解してください。配管部から漏れた廃液により施設が汚染される可能性があります。このような二次災害に関しては使用者側の責任となります。
- 本製品を取扱う際にフットバルブを強く蹴らないでください。製品の故障につながる可能性があります。
- 本製品のドレンに 20L 以上の廃液を入れないでください。製品から廃液があふれ、施設が汚染される可能性があります。このような二次災害に関しては使用者側の責任となります。
- 本製品のフタの上に 15kg 以上のものを置かないでください。フタが破損し、飛び散った廃液により施設が汚染される可能性があります。このような二次災害に関しては使用者側の責任となります。
- 取扱う材料は環境汚染に繋がる可能性があるため、地面等に排出しないでください。有害物質等の処分は材料メーカー取扱い事項(MSDS 等)や適用される法令に従ってください。また、本製品を廃棄する場合も、本製品内に残った材料を除去したうえで、法規に従って処分してください。
  (公認の産業廃棄物処理業者にお問い合わせください。)
- 本製品で取扱う廃油と廃 LLC は混ぜないでください。環境汚染の原因となる可能性があります。

目次

- はじめに
- 使用目的
- 警告・注意事項
- 設置・使用上の注意事項
- 目次

1. 各部の名称
   - 1.1 各部の名称 1
   - 1.2 梱包内容 1
2. 設置・組立
   - 2.1 設置 2
   - 2.2 組立 3
   - 2.3 エア配管の接続 3
3. 使用方法 4
4. 保守・点検
   - 4.1 保守 5
   - 4.2 故障の点検とその対策 5
   - 4.3 日常点検 6
   - 4.4 ポンプの取外し方 7
5. パーツリスト 8
6. 仕様
   - 6.1 仕様 9
   - 6.2 外観図 9
7. 不具合 FAX シート 10
8. 製品保証登録 FAX シート 11
9. 保証規定 12

1．各部の名称

1.1 各部の名称

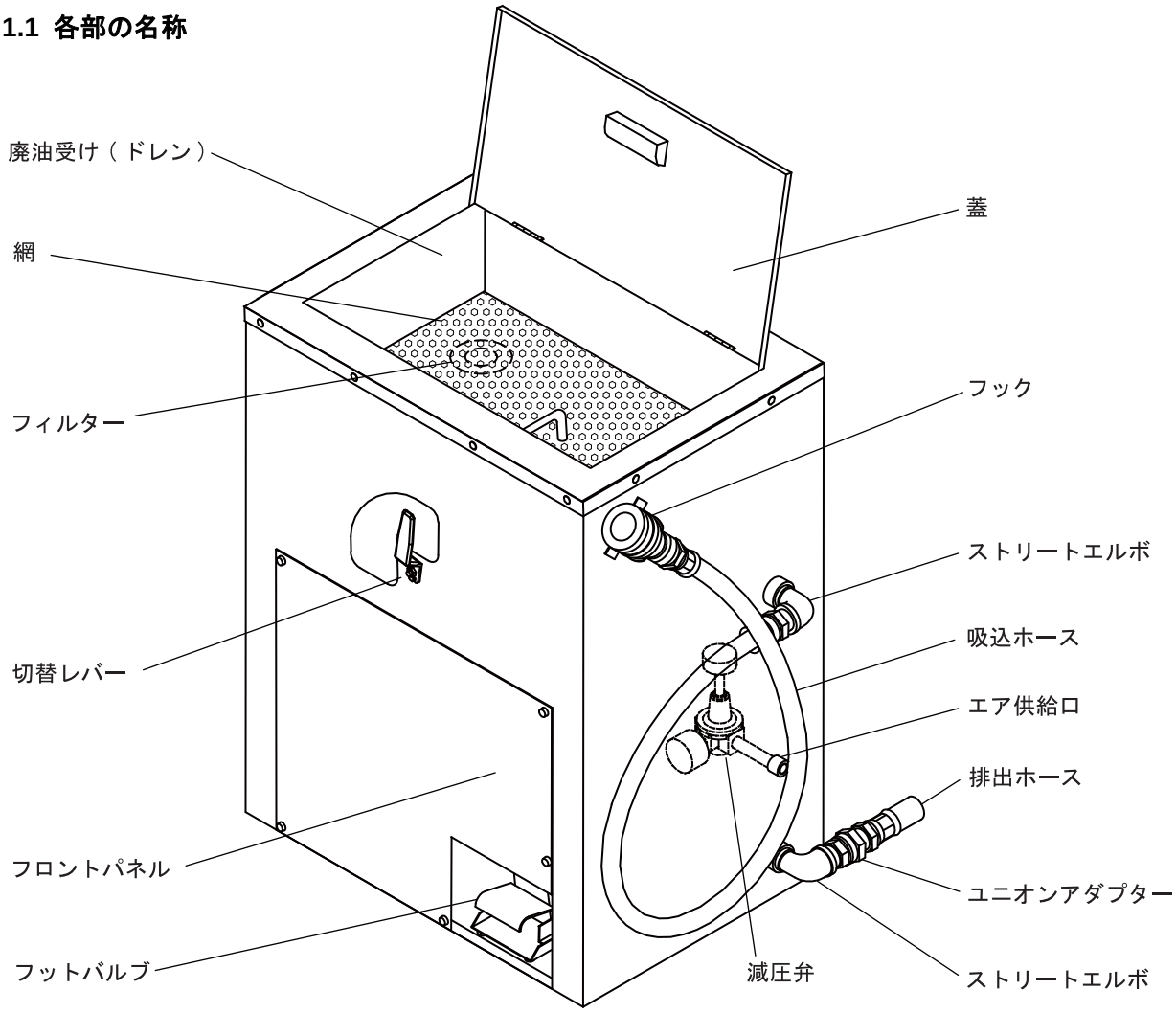


Fig.1

1.2 梱包内容

本製品には、付属品としてフック、トラスコネジ 2 個、ストリートエルボ 2 個、ユニオンアダプター、吸込ホース、排出ホースが収納されています。開梱後、各部の損傷ならびに付属品の有無を確認してください。

2．設置・組立

2.1 設置

・水平な場所を選び、Fig.2 アンカー取付孔寸法を参照して、アンカーボルトを地面に打込んでください。本製品右側にはホース・エア配管を組付けるので充分にスペースを確保してください。
・アンカーボルト打込み後、本製品を設置し、前面のフロントパネルを開け、ナットにて確実に固定してください。

⚠ 警 告

- 本製品を設置する際は水平な場所を選び、アンカーボルトを使用し、外れないようしっかりと取付けてください。転倒した製品にぶつかり、ケガをする可能性があります。

- 本製品を Zone 0 の防爆エリアに設置しないでください。また、本製品を防爆エリアで使用する場合は必ず製品とポンプの両方にアースを取付けてください。前述の内容が守られない場合、火災や爆発につながる可能性があります。
(防爆エリアに関しては IEC 60079-10 を参照してください。)

⚠ 注 意

- 本製品を移動する際は、製品を落とさないように注意して移動してください。
また、人力で移動する場合は必ず 2 人以上で移動してください。1 人で移動を行った場合、製品の重量で腰を痛める可能性があります。

- 本製品を設置する際は雨水や水のかからない場所に設置してください。製品に雨水がかかった場合、製品の故障や環境汚染につながる可能性があります。

<NOTE>
本製品を設置する際には、屋内の作業で最も便利な場所を選定してください。特に雨、風、ほこりなどがかぶらない所を選んでください。

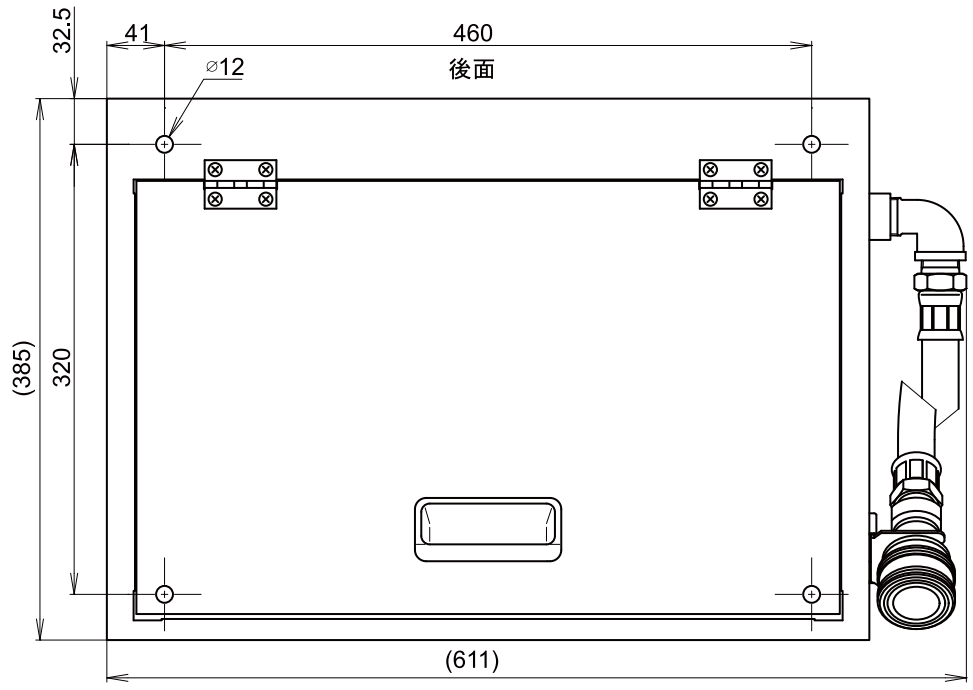


Fig.2 アンカー取付孔寸法

2.2 組立

・Fig.1 を参照して吸込ホース、排出ホースを接続してください。配管側には、まだ接続しないでください。
・付属されているフックを本体右側面のブラケットに差込み、トラスコネジ(M4×L6･付属品)を使用して固定してください(Fig.3)。

<NOTE>
排出ホース側のストリートエルボ、ユニオンアダプターは配管工事および設置状況によって使用の有無を選択してください。

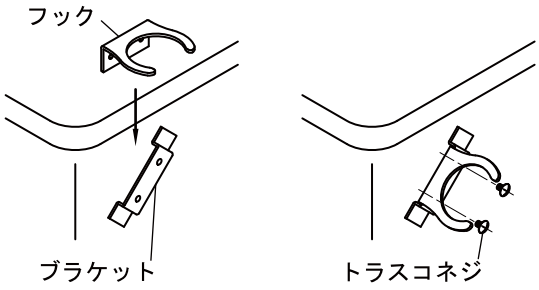


Fig.3

2.3 エア配管の接続

⚠ 注 意

- 本製品へのエア供給源には、必ずバルブを取付けてください。バルブを取付けずに製品を使用した場合、故障の原因となる可能性があります。

- 配管の接続をする際には、ゆるみ、漏れの無いよう、ネジ部にシールテープを巻いてしっかりと締付けてください。配管部から漏れた廃液により施設が汚染される可能性があります。このような二次災害に関しては使用者側の責任となります。

- エア配管を接続する前に、必ず本製品前面のフロントパネルを開けて、中にある減圧弁のつまみを左（反時計廻り）に廻し、またフットバルブが OFF になっているのを確認してください。

・エア供給口まで供給エアの配管工事を行ってください。
・本製品前面のフロントパネルを開けて、中にある減圧弁で供給エア圧力の設定を行ってください。ポンプの常用エア圧力は 0.2～0.7MPa ですが、快適に使用していただくために 0.4～0.5MPa の間に設定してください。

<NOTE>
配管工事終了後は、本製品に接続する前にエアを通し配管内の切粉、ゴミなどを取除いてください。その後、本製品に接続してください。

３．使用方法

⚠ 警 告

- 本製品で取扱う廃液は、地面などに直接排出しないでください。
廃液の処理は適用される法令に従って処理してください。

⚠ 注 意

- 作業終了後および夜間・休日には、必ず本製品への供給源のバルブを閉めて配管・ホース内の圧力を抜いてください。供給源を止めずホースに圧力がかかったまま放置すると、パッキン・ホース類の損傷により材料が漏れ施設を汚染させるなどの二次災害が発生する可能性があります。このような二次災害については使用者側の責任となります。

1) 本製品上部廃油受け（ドレン）に溜まった廃液を排出したい場合は、本製品前面にある切替レバーを上に向けてください（Fig.4）。
2) 吸込ホースを用いてポータブルオイルドレンより抜取排出したい場合は本製品前面にある切替レバーを左に向けてください（Fig.5）。
3) 本製品下部のフットバルブを ON にする（ペダルを踏む）とポンプが動き出し、廃液が排出・移送されます（Fig.6）。
4) 廃液を排出し終わるとポンプが空作動するので、フットバルブを OFF（ストッパーを軽く蹴るようにして外す）にして、ポンプを停止させてください（Fig.7）。

<NOTE>

ポンプの空運転はポンプの寿命に悪影響を及ぼしますので極力避けてください。

フットバルブのストッパーを外す際、勢いよく蹴るとフットバルブを破損することがあるので、注意してください。

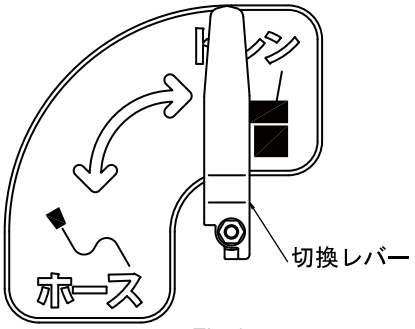


Fig.4

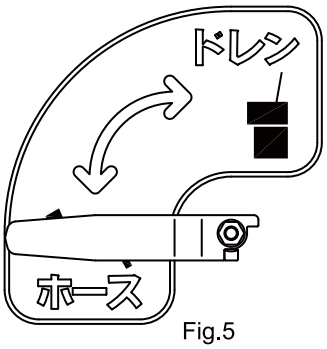


Fig.5

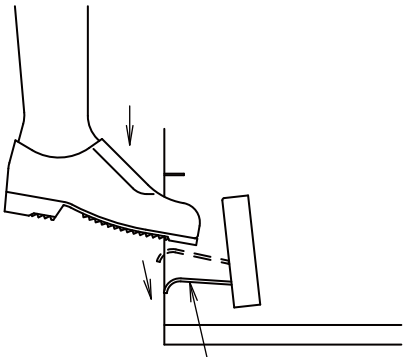


Fig.6

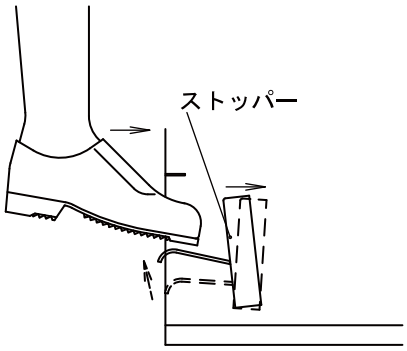


Fig.7

4．保守・点検

4.1 日常点検

・ポンプの運転を行う前には毎日必ず下記の事項を点検してください。異常を発見した場合は、原因を究明して、処置を行うまでポンプを運転しないでください。

a) 各接続部やポンプから液材の漏れがないことを確認してください。

b) ケーシングや配管等にひび割れがないか確認してください。

c) 各ボルト、ネジの増締めを行ってください。
(ポンプの増締めについては「整備要領書 NDP 019M」を参照してください。)

d) 配管や補器類の接続部に緩みがないことを確認してください。

e) ポンプや各消耗部品について交換時期を過ぎていないことを確認してください。
(消耗品については下記を参照願います。)

消耗品と推奨交換時期

品番号	部品名	数量	推奨交換時期
695659	ホース	1/台	1 年
695660	サクションホース	1/台	1 年
695858	ホース A	1/台	1 年
695662	ホース B	1/台	1 年
695859	ホース C	1/台	1 年
695860	ホース D	1/台	1 年
570068	ナイロンチューブ	1/台	1 年

4.2 保守

⚠ 注 意

- ポンプの分解・点検は、人身事故を防止するため、必ず供給エアを止めて、ポンプ内の圧力を抜いてから行ってください。
- 本製品廃油受け内の網を外すときは、異物の有無を充分に確認してください。異物の落下などはポンプの故障の原因となります。
- 部品を洗浄する際、NBR、ウレタンゴム、銅合金、鉄ステンレスなどを腐食するような液剤や揮発性の高い液剤は、使用しないでください。

・本製品はオイルなどによって汚れやすいので、常に清掃に心がけてください。

・廃油受け内のアミは目詰りを起こさないよう、定期的に洗浄してください。

・ポンプのパッキン類は使用することにより摩耗します。定期的な点検・交換が必要です。

4.3 故障の点検とその対策

状　　況	点　　検　　方　　法	対　　策
ポンプが作動しない	供給エアは正常か →	0.4～0.5MPa に調整
	エア供給源・配管は正常か	
	コンプレッサーは正常か →	点検・修理
	エアコックは開いているか →	点検
	減圧弁に異常は無いか →	点検・交換
	ポンプに異常は無いか →	ダイアフラムポンプ取扱説明書をご覧ください
ポンプは作動するが廃液が排出されない	ポンプに異常は無いか →	ダイアフラムポンプ取扱説明書をご覧ください
廃液は排出されるが流量が少ない	供給エアは低下していないか →	0.4～0.5MPa に調整
	コンプレッサーは正常か →	点検・修理
	エアコックは開いているか →	点検
	減圧弁に異常は無いか →	点検・修理
	ポンプ排気口のサイレンサーは詰っていないか →	交換
	吸込口、吐出口が詰っていないか →	清掃
	エア切換機構が凍結していないか →	解凍
	ポンプに異常は無いか →	ダイアフラムポンプ取扱説明書をご覧ください

4.4 ポンプの取外し方

⚠ 注 意
- ポンプの分解・点検は、人身事故を防止するため、必ず供給エアを止めて、ポンプ内の圧力を抜いてから行ってください。

1) 本製品前面についているフロントパネルを固定している5本のネジを取外し､フロントパネルを開けてください。
2) ポンプに接続されているホース配管を取外してください。
3) ポンプを固定しているボルト・ナットを外して、ポンプを取出してください。

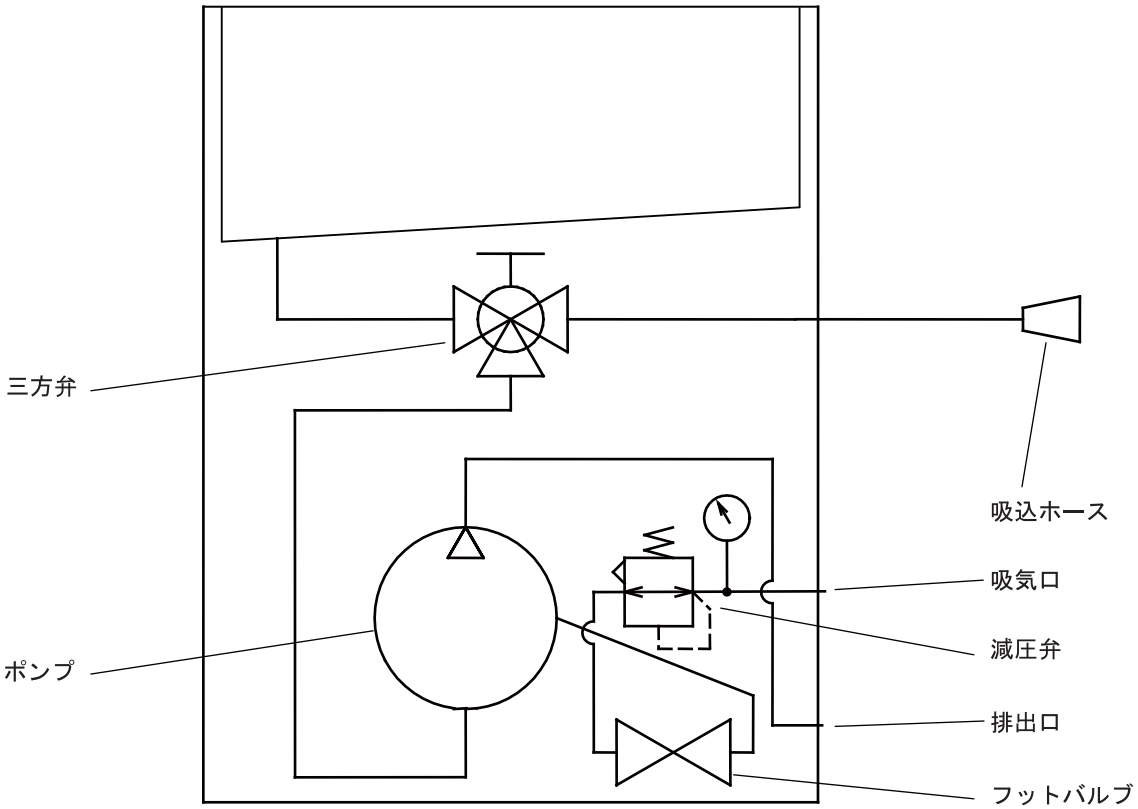
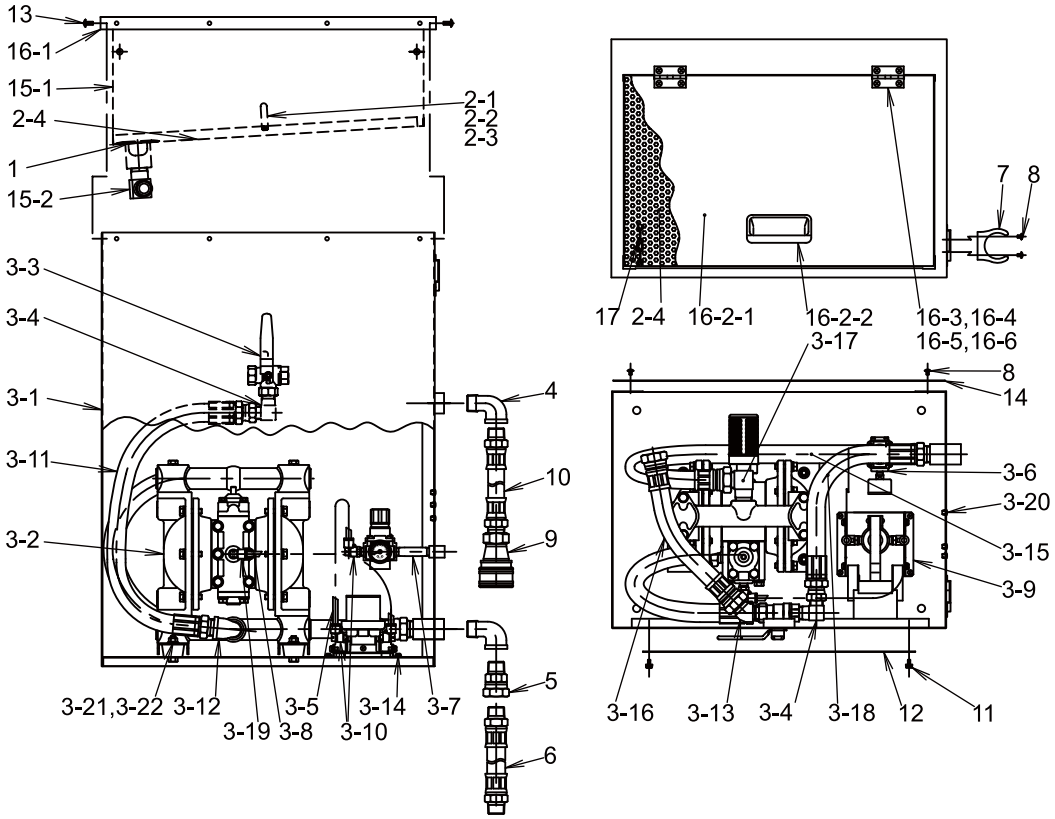


Fig.8 配管系統図

５．パーツリスト



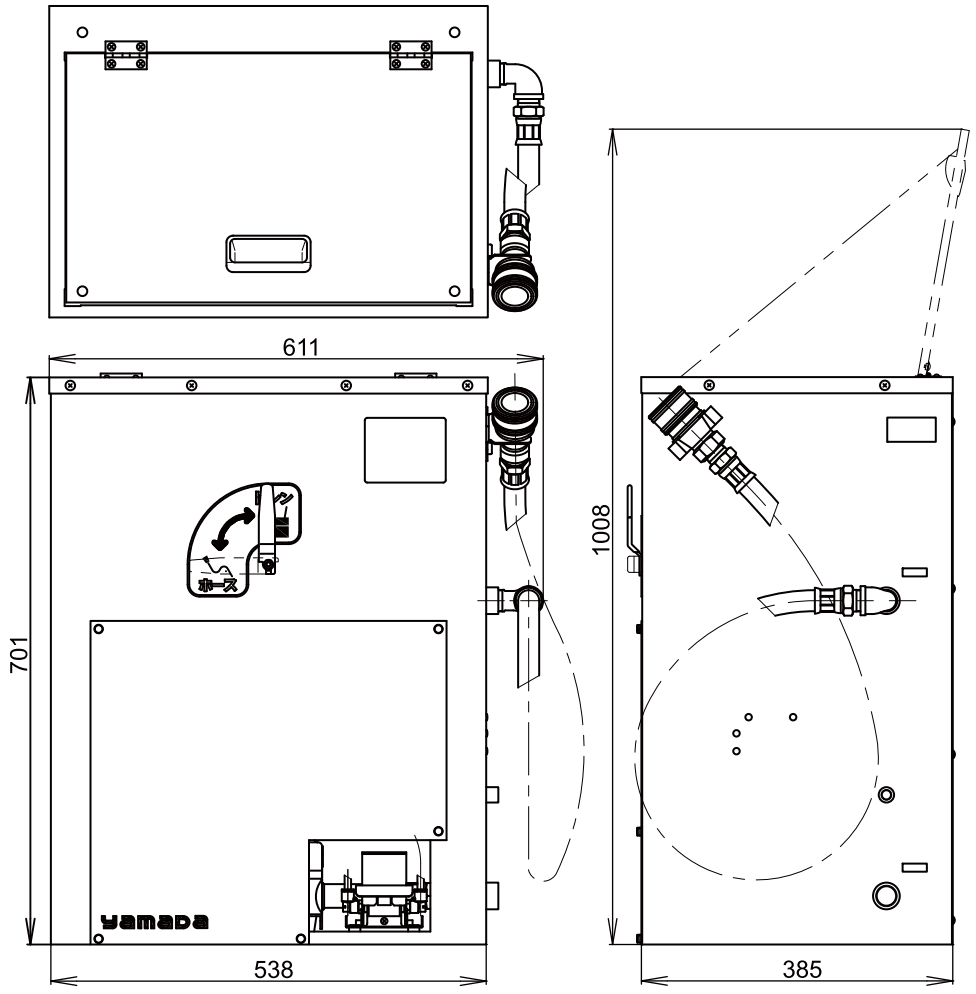
No.	部品番号	部　品　名　称	員数	No.	部品番号	部　品　名　称	員数
1	686517	網	1	3-21	682276	フランジ付ナット	4
2	804987	網組立		3-22	770551	ゴム足	4
2-1	686537	取っ手	1	4	634034	ストリートエルボ	2
2-2	682890	ナベコネジ	2	5	680082	ユニオンアダプター	1
2-3	631171	平座金	2	6	695659	ホース	1
2-4	716600	網	1	7	713253	フック	1
3	854667	フレーム組立		8	602991	トラスコネジ	10
3-1	833036	フレーム組立	1	9	682370	ソケット	1
3-2	852947	ダイアフラムポンプ組立	1	10	695660	サクションホース	1
3-3	685301	三方バルブ	1	11	684350	ユリアネジ	5
3-4	681224	エルボ	2	12	716607	フロントパネル	1
3-5	570068	ナイロンチューブ	1	13	603019	トラスコネジ	8
3-6	684355	減圧弁	1	14	716608	側板	1
3-7	683563	ロングニップル	1	15	804960	シンク底板組立	
3-8	570068	ナイロンチューブ	1	15-1	833038	シンク底板	1
3-9	684356	フットバルブ	1	15-2	680088	エルボ	1
3-10	682579	エルボフィッティング	3	16	804961	シンク上板組立	
3-11	695858	ホースA	1	16-1	716611	シンク上板	1
3-12	634034	ストリートエルボ	1	16-2	804962	蓋組立	
3-13	686520	エルボ(45°)	1	16-2-1	716613	蓋	1
3-14	684601	バネ平座付ナベコネジ	4	16-2-2	684351	取っ手	1
3-15	695662	ホースB	1	16-3	684352	蝶番	2
3-16	695859	ホースC	1	16-4	608992	トラスコネジ	8
3-17	680088	エルボ	1	16-5	684306	バネ座金	8
3-18	695860	ホースD	1	16-6	716612	プレートナット	4
3-19	684357	エルボフィッティング	1	17	686539	チェーン	1
3-20	686083	ホールプラグ	4				

６．仕様

6.1 仕様

名　称	ドレーンキャビネット		
型　式	DCB-20S		
製品番号	881129		
仕　様	性　能	廃油排出量：ドレン…約 23L /min ホース…約 14L /min　（エンジンオイル 20℃）	
	ポンプ	NDP-20 BAH	
	油受け	最大 20L	
	ホース	吸込ホース：1.3m（φ26×φ19） 排出ホース：0.7m（φ29×φ19）	
	寸　法	W542×H701×D385 W611×H1008×D385（最大）	
	質　量	約 42kg	
	付属品	フック（吸込ホース掛け用） トラスコネジ M4×L6（フック取付用） ストリートエルボ 3/4 ユニオンアダプター 3/4 吸込ホース φ26×φ19×L1300（カプラ付） 排出ホース φ29×φ19×L700	1 個 2 個 2 個 1 個 1 個 1 個

6.2 外観図



7．不具合内容 FAX シート

不具合･故障の原因を追求するために、及び修理サービスの充実を図るために必要となりますのでお手数ですが下記の FAX シートに必要事項を記入して、弊社営業所宛てに送信してください。

不具合内容 FAX シート	
フリガナ 貴社名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿	フリガナ ご担当者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
フリガナ ご住所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿	 ご所属 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ご連絡先 Tel.　（　　）＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿ Fax.　（　　）＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿
製品名	型式
使用期間 20　　年　　月 ～　　年　　月	SERIAL No. （LOT No.）
運転頻度　　□連続 □断続　　hr／日･週･月	購入年月日 購入販売店
機器の状態（不具合の内容）	

8．製品保証登録 FAX シート

・お手数ですが、下記の FAX シートをコピーして必要事項をご記入の上、弊社宛てにご送信ください。
（フリガナ指定の箇所は、必ずご記入ください。）

製品保証登録 FAX シート

フリガナ 貴社名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿	フリガナ ご担当者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
フリガナ ご住所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿	 ご所属 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ご連絡先 Tel.　（　　）＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿ Fax.　（　　）＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿

■貴社の業種を下記より選んで〇で囲んでください。

1.ガソリンスタンド	2.自動車整備業	3.自動車部品製造
4.車両・造船業	5.製鉄業	6.機械加工業
7.機械製造業	8.電気機械器具製造	9.半導体製造業
10.化学・プラント	11.建築・土木	12.塗料・インキ製造業
13.薬品・樹脂	14.食品製造業	15.塗装業
16.鉄道・バス・運輸業	17.窯業・陶器製造	18.印刷産業
19.鋳造業	20.石油産業	21.電気部品製造
22.軽金属・非鉄	23.織物・家具	24.バルブ

25.その他（詳しくご記入ください。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ）

■本製品をお知りになったきっかけを〇で囲んでください。

新聞	1.日刊工業新聞	2.日本工業新聞		3.日経産業新聞
	4.日刊自動車新聞	5.燃料油脂新聞		6.その他の新聞
雑誌	7.IEN	8.化学装置	9.IPG	10.その他の雑誌
	11.販売員に薦められて	12.展示会		13.カタログで

ご購入年月日	＿＿＿年 ＿＿＿ 月 ＿＿＿ 日	ご購入目的 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
ご購入販売店		ご使用条件
製品名（型式）		
製品番号		
SERIAL No.		
LOT No.		

宛先　**株式会社 ヤマダコーポレーション**
営業部　製品保証登録係
TEL. 03-3777-4101
FAX. 03-3777-3328

９．保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起こりました場合には、納入日より 12 か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1.保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して 12 か月間といたします。

2.保証内容：期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

3.適用除外：期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

(1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
(2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
(3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解する様な液剤を使用されて生じた故障。
(4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
(5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
(6) パッキン、O リングなどの消耗部品の摩耗。
(7) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
(8) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
(9) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用した場合に発生した故障。
(10)過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適当な油脂を使用された場合の故障。
(11)日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類　　・各種パッキン類　　・コード類

4.補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 5 年とさせていただきます。製造打ち切り後 5 年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

製品に対するお問い合わせは、下記営業所にお願い致します。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業部	〒143−8504	東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号	TEL（03）3777−4101（代）	FAX（03）3777−3328
札幌営業所	〒062−0002	札幌市豊平区美園二条 6 丁目 3 番 16 号	TEL（011）821−0630（代）	FAX（011）821−0949
東京営業所	〒143−8504	東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号	TEL（03）3777−3171（代）	FAX（03）3777−6770
名古屋営業所	〒463−0052	名古屋市守山区小幡宮ノ腰 7 番 38 号	TEL（052）795−0222（代）	FAX（052）795−0444
大阪営業所	〒537−0025	大阪市東成区中道 3 丁目 15 番 2 号	TEL（06）6971−5301（代）	FAX（06）6974−0497
福岡営業所	〒812−0888	福岡市博多区板付 5 丁目 18 番 14 号	TEL（092）581−5477（代）	FAX（092）581−6524

YAMADA　AMERICA Inc.	955 E.ALGONQUIN RD., ARLINGTON HEIGHTS, IL 60005,USA	TEL 1−847−631−9200
YAMADA　EUROPE B.V	Aquamarijnstraat 50−7554 NS Hengelo(O), The Netherlands	TEL 31−0−74−242−2032
雅玛达（上海）泵业贸易有限公司	上海市浦东新区金桥镇三桥村 2690 弄南底层 2 号	TEL 86-21-3895-36

201206 AUT068U